

愛寿会だより

6月号
第108号
平成20年
6月1日発行



【 例年より今年は早く

芽吹いたコシアブラ】

(長坂町小荒間)

愛寿会だよりに寄せて

「皆様の貴い浄財によりまして必要な物品をいただくことができ、関係者一同喜んでいきます」「生活環境がさらに整い、安心して就労できるようになって感謝しております」「この度の配分は本当に助かりました。多くの方々の善意を無駄にしないよう大切に使用させていただきます」これは、県民の皆様の温かいご理解とご協力の中で共同募金活動に寄せられた貴い浄財によりまして、さらに充実した福祉の現場からのありがとうメッセージの一部です。

私は、この四月一日から社会福祉法人山梨県共同募金会の事務局長をさせて頂いておりましたが、こうしたお声をお聞きいたしますと、今年も一人でも多くの民間福祉の現場の皆様喜んでいただけるよう、身を引き締めて募金活動をしなればとの思いを強くいたします。

本県の共同募金活動も県民の皆様の善意に支えられ、お蔭様で今年で六十二回目となりますが、これまでにお寄せいただきました募

社会福祉法人 山梨県共同募金会

事務局長 櫻本 安善

金の総額は六十五億円を超え、県内の民間福祉事業充実の一助となつているところであり、今後におきましても、県共同募金会役職員をはじめ関係者一同一丸となりまして、募金活動に取り組んでいく考えです。

改めまして、県民の皆様の貴い善意に心から感謝申し上げますとともに、共同募金活動に今後とも変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、社会福祉法人愛寿会様におかれましては、昭和四十八年に、県内初の民間施設「特別養護老人ホーム仁生園」を開所され、以来三十五年の永きにわたり、施設やサービスの充実に努められ、本県の高齢者・障害者福祉に多大な貢献をなされておられますことは広く知れ渡つているところであり、こうしたりっぱなお取り組みに深甚なる敬意を表すものです。

どうか今後におかれましても、板山賢治会長様、小澤澄夫理事長様で両名の素晴らしいご見識とすぐれたリーダーシップのもと、愛寿会役職員の方々がなお一層その持つ力を結集なされ、「地域と共にある愛寿会」、「地域に信頼される愛寿会」の名声をさらに高められますよう、そして、さらにさらに「飛躍」を発展なされますことを心からご祈念申し上げます。

<p>料金後納 郵便便</p>	<p>差出人(差出発送代行) 7-4 佐川物流サービズ(株) 返送先: 〒140-0012 品川区勝島1-1-1</p>
<p>申子小包</p>	<p>このお荷物に依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行しています。</p>

— 理事会・評議員会開催 —

第一七三回理事会並びに第十六回評議員会が、五月三十日に開催され、次の事項について協議されました。

一、役員の変更について

当て職の理事・評議員の変更が承認されました。

退任者 坂本 仁 理事・評議員

就任者 市村一司 理事・評議員

又、七月二十四日をもって任期満了となる各役員の改選について、全員留任の方向で理事長に委任することとなった。

二、平成十九年度事業報告について

三、平成十九年度収支決算について

監事監査報告

四、平成二十年本部一般会計補正予算について



【 理事会・評議員会の様子 】

平成十九年度 事業報告

愛寿会のモットーである「利用者本位のサービスの実践」「専門性の活かせる職場づくり」「地域社会との協働と貢献」をめざし、利用者に「安全で安心した生活」「その人らしい生活」「できる限り在宅に近い生活」の提供に努力した。

また、本年度も各事業のベツト稼働率・利用率の向上は勿論のこと、あらゆる経費節減に努めた。

一、社会福祉法人 愛寿会

① 役員会の開催

理事会 年四回 監事監査 五月

評議員会 年二回

② 役員の変更

十二月 退任

桜井 義長理事・評議員 伊藤 重忠評議員

千野 知美評議員 山田トミエ評議員

三月 就任

島口 邦昭理事・評議員 齋木 正光評議員

小尾 祐一評議員 三澤喜代子評議員

退任

坂本 仁 評議員

③ 法人減免の実施

利用者総数 十五名 二市町村

減免総額 百四万九千七百三十七円

補助金額 十万六千円

法人減免額 九十四万三千七百三十七円

④ 介護報酬の請求

停滞なく請求でき、過誤・返戻も最少限と
なっている。

⑤ 派遣職員の雇用

定数以上の職員については、人材派遣会社を活用することとし、事務職二名・看護職員二名・ケアワーカー十六名を雇用した。

⑥ 苦情解決相談

愛寿会が提供するすべての事業の苦情に対して、窓口担当者・解決相談責任者・第三者による苦情解決相談委員会を設け対応していただいた。

⑦ 後援会の発足

五月に発足し、一二二名の方に入会をお願いすることができた。

⑧ 第二仁生園の開設

七月一日に開設し、半年で定員満床とすることができた。

⑨ 二班改修工事の実施

二十年を経過した建物の内装工事を実施した。この改修工事により生活環境の改善、医務機能の充実、看とりの部屋の新設、ショートステイ居室への変更ができた。

⑩ ショートステイの増床

十月より定員十三名を十九名に変更した。

⑪ 情報の開示

財務状況・監査状況等を園内に掲示すると共に、毎月発行する「愛寿会だより」「ホームページ」により自主的に情報開示を行なった。

⑫ ノロウイルス等感染予防

施設内の消毒を一日二回ずつ実施すると共に、手指消毒・うがい等を徹底し、あらゆる感染症に対して全員で取り組みました。

⑬ 経費削減の取り組み

ボイラーへのタイマー設置、蛍光灯のレンタル使用への切り替え、備品の一括購入・麦茶への切り替え等あらゆる経費削減に努力した。

⑭ 職員研究会の成果

十二の研究部会及び各委員会により毎月二回以上の勉強会を開催し、サービスの向上・職員の資質向上に努めた。

二. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

定員 一三二名

平均入所者数 一二九・二名

ベット稼働率 九七・九%

平均介護度 三・二六

* グループケア ↓ 利用者十五名以内のグループにより、「目配り」「気配り」が行き届き、一人ひとりのニーズに添った支援が出来る。

* リスクマネージメント ↓ 介護事故等を未然に防ぐために、ケアプランの作成段階からあらゆる危険性について家族と共に話し合い、同意のうえで提供した。又、「ヒヤリハットノート」の活用（年間七十四件）により、事前に気づくことができていた。

・ ・ ・ 怪我等発生市報告件数 四件

* 入所者のつどい ↓ 入所者の意見を聞く場
・ 話し合いの場として年六回実施し、サービスの改善に役立てた。

三. ショートステイセンター（短期入所生活介護）

十月より十三床から十九床に変更。
一日平均八・三七名 後期は十四・一名を達成した。

四. デイサービスセンター（通所介護）

五月より四―六時間事業を六―八時間の事業に変更。
年間実施日二五七日、平均利用者数十三・八名

五. グループホーム「やすらぎ」

（認知症対応型共同生活介護）

家庭的な雰囲気大切に、その人らしい生活をおくっていたくように努めた。
平均入居者数八・九九名 入居率九九・八八%

* 地域運営委員会 六回実施

六. 介護相談センター（居宅介護支援事業所）

職員一名体制で実施した。
実施請求件数三九六件

七. 生活支援ハウス「こあらま」（ケア付き住宅）

行事への参加・食事の提供・二十四時間対応等、総合老人福祉施設併設のメリットを十分生かしたケア付き住宅として平均五・九六名が利用した。

八. その他

* 安全対策等危機管理

毎月一回以上「安全対策委員会」「防災対策委

員会」「衛生委員会」「虐待防止委員会」「ターミナルケア委員会」を開催し、防災・不審者・震災・介護事故・食中毒・感染症・個人情報保護等あらゆる危機に対して検討、対応、訓練を実施した。

* 食事の充実

すべての入所者に対して「栄養マネージメント」を行ない一人ひとりの体調に合わせた食事を提供している。

* 職員の育成

毎週月曜日の実践研修報告会、年間二十四回のケア研修会、十二研究部会研修を開催するとともに、施設外開催の勉強会に積極的に参加し、報告勉強会も実施した。

九. 課題

① 職員の雇用

② 安全対策

― 後援会総会開催 ―

五月三十日十一時三十分より、平成二十年度愛寿会後援会総会が開催され、次の事項について協議・承認されました。

- 一. 平成十九年度事業報告について
- 二. 平成十九年度決算について
- 三. 平成二十年度事業計画について
- 四. 平成二十年度予算について

天理教国中支部北巨摩組

四月二十九日(火)、天理教国中支部北巨摩組四十名のみな様が、奉仕作業のため来園されました。園外周のごみ拾いや窓拭き、草取り等、軽トラを持ち込んで作業をしていただきました。毎年作業のために来園され、とてもきれいにしていたいております。



【 ありがとうございます 】

ご家族のみな様にお願

ご登録いただいた緊急連絡先または介護・医療保険証等に変更・更新がある場合には、ご利用のサービス担当者までご連絡のうえ提出ください。

野点

五月七日(水)、毎年恒例となっております野点が園の中庭にて催されました。赤い日よけの傘がたてられ、着物姿の職員が参加された方にお点前を披露しました。明るい陽射しの中、お茶を飲みながらゆったりとした時間を過ごされました。



【 お茶とお菓子を楽しまれました 】

後援会入会の方々

(三月～四月)

- 野口 裕様 ○板山 毅様

後援会にご加入いただきましたみな様に厚く御礼申し上げます。

ご芳情 (五月一日～五月三十一日)

- ・レクボランティアほがらかグループ 様
・レクボランティアゆずっこの会 様
・北杜市 山鳩の会 様
・北杜市 保坂 多枝子 様
・北杜市 小野寺 毅 様
・北杜市 浅川 婦美子 様
・北杜市 石川 郁子 様

利用者状況 (五月末現在)

Table with 2 columns: Facility Name and Number of Users. Rows include: 特別養護老人ホーム (132名), ショートステイセンター (12・四九名), デイサービスセンター (四十七名), グループホームやすらぎ (九名), 生活支援ハウスこあらま (八名), 第二仁生園 (三十名).

愛寿会のサービスに何かご意見、ご要望などがございましたらこちらまでお寄せ下さい。電話0551-32-3340